

スウェーデンとオランダから オリンピック選手団が直前合宿

7月22日(火)から8月19日(火)にかけて、スウェーデンとオランダのオリンピック選手団が、博多の森という名称で市民に親しまれている東平尾公園(博多区)の競技施設を主な練習会場として事前合宿を行っています。スポーツ課の竹中菊博係長(47)に話を聞きました。

「外国の選手団は何人くらい来ていますか」スウェーデンからは陸上、水泳など13競技・約150人が、オランダからは陸上の約30人の選手団が滞在しています。日本全国で事前合宿を受け入れていますが、種目数・人数ともに一番多いのが本市です。

「なぜ本市が選ばれたのですか」平成7年のユニバーシアードを契機に、国際スポーツ都市として世界水泳、世界クロスカントリースキーなどの世界大会を開催してきましたが、その実績が認められ、北京オリンピックの事前合宿候補地として照会を受けました。スウェーデンのオリンピック委員会会長や選手、コーチは3年前から10数回来福し、内容を検討してきました。

その結果、主な練習会場である東平尾公園など競技施設が充実していること、

宿泊先から福岡空港、練習会場までが近く交通が便利なこと、北京へ乗り換えなしで行けることなどから、事前合宿地は本市に決まりました。オランダは昨年の世界陸上天大会に続き、2度目の合宿です。

「合宿によりどのような効果が期待できますか」オリンピック選手団による地元ユニバーシアード選手への練習公開や懇談などを通して相互の交流を深めます。



事前合宿地を選ぶため、東平尾公園のトライアスロン選手、リサ・ノルデン(左)とコーチ

スウェーデンからは20数人の報道陣も来福し、本市と選手団の様子が毎日北欧の街へ届けられています。

【問合せ先】スポーツ課(☎711・4657) 7333・5595 メール sports.CAB@city.fukuoka.lg.jp

福岡で自宅選定の決め手は練習に最適な海の中道に近く、週に6日、雁の巣に車を止めて片道5分を4往復しています。信号の少ない直線が多く、追い風や向かい風も



大分陸上2007にて

「僕にとって走ることは自分を探す行為です。自分の存在価値を教えるため、人生を楽なものにするために、僕にはこれが与えられたんだと思います。鍛えられた腕の筋肉が、副島選手の強靭な心をも物語っていました。」

9月12日(金)出場の北京の目標は表彰台に上ること。「タイムを上げることは大変。だから自己ベストが出た時の感動は何物にも代えられないですね。たくさんの人との出会いと、外に出る勇気をくれた水泳に感謝しています。」



普段の練習もこの迫力

時速約40キロで駆け抜ける車いすマラソン。20代の時、脊椎を損傷した副島正純選手(37、写真)は車いすマラソンを観戦し、その迫力・スピードにひかれ、車いす陸上を始めました。



「障がいがある競技ができるんだ」と思っている。アトランタに行きたい」と本格的に競泳を始めました。1年半後、初出場で金メダルを獲ったアトランタでは、障がい者に普通に通じる声を掛ける街の人々に感動したそうです。シドニーパラ

「4度目のパラリンピックとなる梶原紀子選手(40、写真)。水泳は医師の勧めでしぶしぶ始めたそうです。が、平成2年の福岡国体で「障がいがある競技ができるんだ」と思っている。アトランタに行きたい」と本格的に競泳を始めました。1年半後、初出場で金メダルを獲ったアトランタでは、障がい者に普通に通じる声を掛ける街の人々に感動したそうです。シドニーパラ

パラリンピック 陸上競技 1500m・5000m・車いすマラソン 副島正純選手

パラリンピック 水泳 平泳ぎ100m 梶原紀子選手

日本記録保持者が金メダルに挑む!

4度目のパラリンピック出場

秋のスポーツイベントに参加しませんか?

シティマラソン福岡2008

全国から8,000人が参加する市民ランナーの祭典です。自分に挑戦する人、仲間と楽しむ人たちがヤフードームに集います。秋風の中、福岡の街を走り抜けてみませんか? 期11月2日(日) 開会式午前8時、雨天決行 所ヤフードーム

第11回シティウォークinふくおか

「歩くことは健康づくりの出発点」をキャッチフレーズに、競技ではなくウォーキングを楽しむイベントです。博多湾を眺めながら百道浜や愛宕浜を歩きますか? 3月に開催していた同大会を、今回から秋に開催します。期11月2日(日) 雨天決行 所ヤフードーム

市長の日記

ボディーを一体どこに忘れてきたんだろう? レースになれば技術力に加え最後まで決してあきらめない精神力も必要です。福岡から北京五輪セーリングに出場する石橋・牧野組の応援について力が入るのも、ヨット競技の奥深さをちよつぱり知っているからでしょうか。頼まれた寄せ書きに「風をつかめ」としたためました。若さを武器に思い切り挑戦してほしい。大丈夫、みんなが付いてるよ。

福岡市長 吉田 宏

聞きたかけん

第6回

博多区保健福祉センターで7月3日、子育てをテーマに「聞きたかけん」を開催しました。懇談したのは、博多区内の育児サークルのメンバーが活躍する「博多すくすくネット」の皆さんです。子育て情報誌の発行やイベントの開催など、子育て支援活動を行っています。



パワーあふれる皆さんと一緒に